

拡張メモリモジュール(PG-RM2N)を PRIMERGY F250/P250 へ 搭載される場合の注意事項について

このたびは、弊社の拡張メモリモジュール PG-RM2N をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。本メモリモジュールを PRIMERGY F250/P250 へ搭載されるにあたり、ご使用になる上での注意事項がございますので、本書をよくお読みの上ご使用願います。

平成 15 年 1 月
富士通株式会社

本メモリモジュールを使用され、PRIMERGY F250/P250 に搭載されるメモリの容量を 6GB にされる場合、本体装置の BIOS 版数により設定変更などが必要になります。

1. 対象となる本体の BIOS 版数について

本体装置の出荷時期により BIOS 版数が異なります。BIOS 版数により本書の注意事項を適用される必要があるものと無いものがあります。はじめに BIOS 版数の確認をお願い致します。

1-1 BIOS 版数について

対象となる BIOS 版数は下の表の通りです。

対象サーバ本体	BIOS 版数	6GB 搭載時の注意事項
PRIMERGY F250/P250	BIOS : Rev 1.02	メモリを合計で 6GB 搭載される場合には、本書の注意事項を良くお読みのうえ、増設をお願いいたします。
	BIOS : Rev 1.03	
	BIOS : Rev 1.01 および BIOS : Rev 1.05 以降	本書の注意事項は該当しません。

1-2 BIOS 版数の確認方法について

BIOS 版数は本体電源投入後の自己診断プログラム(POST)がメモリテストを実行中にディスプレイ上に表示されます。

Phoenix BIOS Version 4.06 **Rev.1.0***.1309 **この行を確認ください**
Copyright 1985-2002 Phoenix Technologies.Ltd.

2. 対象となる BIOS 版数の場合について

対象となる BIOS 版数の場合、メモリを 6GB 搭載されると本体の電源投入後の自己診断プログラム(POST)実行中に本体の再起動がくり返される不具合が起きます。このため、メモリを 6GB まで増設される際、以下の二通りの方法で不具合を修正することが出来ます。

BIOS 設定の変更
BIOS 版数を Rev 1.05 以降へのアップデート(推奨)

2-1 BIOS 設定の変更方法について

**(関連マニュアル: F250 取扱説明書 P133 または、F250 ハードウェアガイド P101,
P250 取扱説明書 P133 または、P250 ハードウェアガイド P95)**

(1) 本メモリモジュールを搭載前に BIOS セットアップにて行なう作業

Main メニュー配下の Boot Option サブメニューの項目[Fast Boot]を"Disable"から"Enable"へ変更してください。変更後、Exit メニューの[Save Changes & Exit]を選択して設定値を保存してください。

(2)メモリの搭載

(1)の作業を行ってから、ハードウェアガイドの 4 章 4 節「拡張 RAM モジュールの取り付け/取外し」を参照になり、メモリを搭載してください。

2-2 BIOS アップデートについて

担当保守員へご連絡ください。その際、以下のお問い合わせ番号を合わせて通知をお願いいたします。担当保守員が BIOS アップデートを実施いたします。BIOS アップデート実施後に、ハードウェアガイドの 4 章 4 節「拡張 RAM モジュールの取り付け/取外し」を参照になり、メモリを搭載してください。

お問い合わせ番号: I A 資料 - 10 - 10161

以上